

三浦半島旬の本春キャベツPRで盛況 春キャベツ配布やトークショーも

JA全農かながわは3月29日と30日の2日間、(株)サカタのタネ、JAよこすか葉山、三浦市農協協力のもと、横浜ランドマークタワーで「みんなあつまれ！三浦半島の本春キャベツ『金系201号』を食べよう！」を開催した。

フェアは(株)サカタのタネが開発し、三浦半島の春キャベツ主要品種となっている「金系201号」が今年で導入から60周年を迎えたことを記念して開催した。

当日は、春キャベツに関するクイズを書いたパネルを会場に設置。フォトスポットや絵を描いて装飾ができるキャベツドームもあり、親子で楽しむ姿が見られた。アンケートに回答した来場者には春キャベツの配



春キャベツを受け取る来場者

布があり、「知ってはいたが、食べたことのない三浦のキャベツをもらえてうれしい」と話す姿が印象的だった。

30日は、横須賀市出身でサッカー元日本代表の石川直宏さんが登壇。自身も取り組む農業、地元三浦半島に関するトークショーを行い、会場はにぎわいを見せた。その後、来場者との記念撮影を行い、石川さんから春キャベツを手渡した。

事務局を務めた農産販売課の伊藤銀海さんは「野菜に関する情勢は厳しいが、生産者と消費者が歩み寄り、三浦半島の春キャベツをたくさん食べてもらい、よりよい産地づくりを目指していきたい」と話した。



記念撮影をする石川さんと来場者

足柄茶100周年を記念した新商品 箱根山麓紅茶ミルクティー新発売

JA全農かながわは、(株)神奈川県農協茶業センターと連携して「箱根山麓紅茶ミルクティー」を新たに発売した。販売は4月14日より開始しており、県内JA直売所で取り扱っている。

商品は今年で栽培100周年を迎える足柄茶の認知度向上を目的に開発した。牛乳も100%県産を使用し、春休みやゴールデンウィークで学校給食がなくなり、需要が少なくなる時期の牛乳消費拡大を図る。

箱根山麓紅茶は県産足柄茶を使用した紅茶茶葉で、苦みが少なくマイルドなのが特徴だ。牛乳を50%使用することで、濃厚な味わいのミルクティーに仕上げた。

担当者は「紅茶茶葉の豊かな香りとたっぷりの牛乳を感じられる内容になっている。パッケージも可愛ら

しく仕上がったのでぜひお楽しみいただきたい」と話した。



箱根山麓紅茶ミルクティー (275g) 全農参考価格198円(税込み)

「なくてはならない全農」であり続けるために 次期中期計画総決起大会

JA全農かながわは3月22日、事業実施方策の共有ならびに士気高揚を目的に、横浜市内のホテルで「次期中期計画総決起大会」を開催した。役職員ら約220人が出席し、「2030年のあるべき姿」の実現に向け、役職員が一丸となり次期中期計画の実践に臨むことを確認した。

「2030年のあるべき姿」は、持続可能な農業と食の提供のため「なくてはならない全農であり続ける」ことを全農グループの目指す姿とし、2050年を見据えつつ、2030年という中長期の視点に立った施策を構築するため、策定された。当日はそれに基づき、各部長が次期中期事業計画の重点取り組み施策について説明をした。

その後、福澤朗フリーアナウンサーを講師に招き「NOチャレンジ NO LIFE! チャレンジライフのコミュニケーション術」と題した研修や、今年度初めての取り組みとして若手職員が中心となって実施した「神奈川県本部みらい座談会」の発表などを行った。

平本光男運営委員会会長は「JAグループを取り巻く環境について、農業者の減少や高齢化、不安定な国際情勢、円安などによる生産資材価格の高騰・高止まりが続いている。本日の総決起大会を通じて「2030年のあるべき姿」の実現とJAグループの存在意義のさらなる発揮に向けて、一人ひとりが次期中期計画に取り組むことを期待する」と役職員を激励した。



あいさつをする平本光男運営委員会会長

売上向上に向けた売り場づくりを学ぶ JA横浜直売所活性化講習会

JA全農かながわは3月18日、「JA横浜直売所活性化講習会」をJA横浜きた総合センターで開催した。直売所活性化支援の一環である本講習は今回が初めての取り組みで、2月4日から3月18日の期間で計3回開催した。メルカート直売所のパート・職員など延べ約150人が参加し、店舗コンセプトの明確化や自店舗での売り場づくりの方法を学んだ。

当日は、JA全農かながわの職員が講師を務め、直売所におけるマーケティングや売り場づくりのセオリーについて講義した。研修ではグループワークも行われ、直売所の販売戦略など参加者たちが積極的に議論を交わす姿が見られた。

参加者は「今回の研修で、購買意欲を高める売り場のつくり方や陳列棚の効果的な活用方法について学ぶ

ことができた。本日学んだことを今後、業務に生かしていきたい」と感想を話した。



講習会には多くの人が参加した